

自衛隊に憧れて高等工科学校入校を希望

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、6月17日（金）自衛隊に憧れ、自衛官に早く進むために、高等工科学校への入校を希望する来所した中学生と保護者に説明を行った。

本説明において、当校の教育内容及び生徒生活の概要を主に説明するとともに、質疑応答では、受験に関する事項や、卒業後の進路など具体的な質問を受け、丁寧に説明した。

生徒は、「今まで憧れだけの存在だった自衛隊が、説明を聞いて現実的なものになってきた。これからできる限りの事をやって夢を実現に変えたい」との感想を確認した。

平塚地域事務所では、「今後も、自衛隊の組織を正しく理解し、興味をもってもらえるよう、進路に向けた説明会を設けたい」としている。



説明を受ける担当地域の
中学3年生

潜水艦研修

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田 辰雄）は、6月24日（金）、神奈川地本カレッジ防衛モニター及び自衛官募集相談員の潜水艦研修を支援した。

本研修では、第2潜水隊群司令部で潜水隊の概要説明を受けた後、実際に2潜群所属の潜水艦へ乗り込み、乗組員から艦内の仕組みなどの説明を受けた。

参加者たちは、普段なかなか目にするのできない潜水艦内部を見学できたことで、乗組員の説明に熱心に耳を傾けていた。また、潜望鏡を実際に操作する等の体験をして緊張が解けると、艦内の寝室の寝心地など具体的な生活環境に関する多くの質問が飛び交っていた。

潜水艦見学後は、マイクロバスに乗車して米軍基地内を見学し、案内役の隊員の軽妙な施設紹介で車内も和やかな雰囲気になります。包まれるなど、とても充実した研修となった。

神奈川地本は、「今後も、積極的に研修を計画し、自衛隊に対する理解及び海上自衛隊の周知並びに信頼感の更なる醸成を図るとともに、募集及び防衛基盤の拡充に努めていく」としている。

～防衛大学校神奈川県父兄会部隊研修を支援～

神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 松田 辰雄）は、6月27日（月）、航空自衛隊入間基地において防衛大学校神奈川県父兄会部隊研修を支援した。本研修は、毎年2回、自衛隊を理解していただくとともに、特に入校して間もない1・2学年のご父兄の不安の払拭・情報交換を目的に実施されるもので、会員には人気が高く、今回は46名が参加した。

研修では、午前中C-1型輸送機を見学、実際に操縦席に着席し、パイロット気分を満喫するとともに、航空学生出身の隊員から分かりやすい概要説明を受け、好評であった。

体験喫食では、当日の献立「えびカレー」のおいしさに感激していた。研修終了後の車中では、ご子息の近況、新会員に対する父兄としてのアドバイス等、活発な意見交換が行われ新会員のご子息ご令嬢の成長への喜びと不安の交錯した感情に先輩父兄会員からのあたたかい助言等に感謝する場面もあった。多くの父兄会会員からは「非常に勉強になった」、「次回も是非参加したい」等の意見を聞くことができた。

神奈川地本では、「今後も父兄会等との連携により、自衛隊に対する理解を促進するとともに協力態勢を確立し、募集をはじめ防衛省・自衛隊の諸活動に積極的に連携させたい」としている。



航空機見学の防衛大学校
神奈川県父兄会員